

事業所名

総合療育れお

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7

年

2

月

25 日

法人（事業所）理念	子ども達の生きる力を育む						
支援方針	子ども達が遊びと感じる活動の中で、自発的に「できる」を見つけていき、『楽しみながら活動することでスキルが身につき、また「できた」が増える』環境を作り、ひとりひとりの「個性」をしっかりと理解し、経験豊富な理学療法士、保育士などの専門職によるチームで療育を提供します。						
営業時間	9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	(あり) なし	
	支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	基本的生活スキルの獲得…作業療育を通して手先の使い方、力の使い方を学び、食具を使用し食事ができるように。身の回りを清潔に保てるように手の洗い方の習得を習慣化する。汚れの認識をし、綺麗にすることを学ぶ。片付けは物の場所を視覚的にわかりやすくし、身につけられるように。勉強する場所、静かに過ごす場所、活動する場所をわかりやすく構造化することにより過ごしやすくしている。生活リズムを身につける…スケジュールの提示、同じ時間に排泄等の誘導をする。					
	運動・感覚	感覚処理能力を高めるための活動を提供。触覚、視覚、聴覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚刺激を通じて、感覚統合能力の向上を目指します。外遊び・活動を通して運動能力の向上。運動療育の実施。他児童と協力しての遊び。姿勢の保持…理学療法士に助言をしてもらい体幹の強化・姿勢の習得。工作…季節を感じられる作品作り。指先や手で感覚や感触を感じ、興味を持つてもらえる取組み。					
	認知・行動	マッチング、ひも通し、型はめ、ブットインなどをすることにより数量、大小、色、空間の概念形成の習得。物の場所・置き場所を視覚的にわかりやすくし、片付けやすくする。スケジュールを視覚的にわかりやすく提示。切り替えの時にはタイムタイマーを使用し切り替えやすくする。工作…発達年齢に合わせた見る力・聞く力・真似る力をつけ、スマールステップで支援を行う。					
	言語 コミュニケーション	絵カード、文字、ジェスチャーを使用し、自分の思いを表出できるように児童に合わせた支援を行う。集団療育や余暇時間に色々な年代の児童とかかわりを持てる場を提供し、集団行動ができるように。絵本の読み聞かせを行うことで、言葉や感情、表現と多く触れ合い言葉の理解、語彙を増やす。他者に自分の気持ちを伝えるや他者の気持ちの理解ができるように、気持ちの代弁を行う。					
	人間関係 社会性	興味持てる遊びを通して参加する手段や、ルールを理解し集団活動に参加できるように支援する。職員と児童との信頼関係の形成。施設以外での人との関わりを行うことで、その場に合ったルールを学ぶ。					
家族支援		家庭での困りごとに関するサポート 延長サービス モニタリング		移行支援	学校、関係機関との連携		
地域支援・地域連携		学校や園、学童クラブ等との情報連携や調整、個別支援計画作成又は見直しに 関する会議等の開催、主治医等との情報連携を行います。		職員の質の向上	定期的な研修（虐待防止・身体拘束適正化、食中毒予防、緊急時避難訓練、不審者対応、感染症、発達障がい全般について）		
主な行事等		運動療育、季節に応じた行事の開催（正月、花見、水遊び、ハロウィン、クリスマス等） 外活動（川、山、公園等）					